



スーパー グローバル ハイスクール

佐高 SGH通信 2017

No. 28 (平成29年10月10日発行)

夏休み中のSGH活動報告②

佐野市長へSGHクラブの活動報告



2017年8月31日(木) 16:30 佐野市役所の市長公室で、SGHクラブの代表生徒が、佐野市長に、夏休み中に実施したSGH活動について報告しました。

SGHクラブの**台湾班**の代表2名(2-1飯塚菜摘さん、1-1松澤あさひさん)と**水俣班**の代表2名(2-3倉持未夢さん、2-4古谷菜奈さん)、そして、**ディベート班**の代表2名(2-1近藤大輝君、2-3荻原佑介君)が参加しました。校長先生の挨拶および参加者全員の自己紹介の後、台湾班、水俣班、ディベート班の順に、活動報告を行いました。市長さんは、台湾や水俣で実施したフィールドワーク(FW)や即興型英語ディベート大会の様子などについて、質問をしてくださったり、感想を述べてくださったりして、とても和やかな雰囲気の中で報告は終了しました。

(生徒の感想)

- ・市長さんに報告するという事で、とても緊張しました。しかし、水俣での体験で自分が一番伝えたかったことを伝えることができました。市長さんから報告の感想や質問をいただき感謝しました。(古谷さん)
- ・FWで学んだことをしっかり伝えられたので、良い経験になりました。(倉持さん)
- ・自分たちが台湾でどのようなFWをしたのかを、市長さんに伝えるのは、高校生や大学の先生に伝えるのとは違う難しさがありました。(飯塚さん)
- ・台湾でのFWについて成果を報告しました。昨年度の成果を踏まえ、今回の体験での成果、感想や考察について話しました。一方的な報告会ではなく、市長さんから質問もしていただいたので、とても有意義な時間を過ごせました。今後もSGH活動に携わりたいと思いました。(松澤さん)
- ・とても緊張しましたが、英語ディベートについて、知っていただくとともに、その魅力を伝えることができました。(近藤君)
- ・市長さんが私たちの報告を真剣に聞いてくださっていたのが印象的でした。(荻原君)



↑佐野市長と代表生徒6名

マルタ共和国でのインターンシップ報告

松崎のかさん(2-1)は、2017年7月23日から8月20日までの約1ヶ月間、マルタ共和国でインターンシップ(職業体験)を行いました。

Q1 どんな活動をしましたか？

→午前中は語学学校に通い、午後は地元の旅行者(ISON)で日本人観光客向けのHPやブログ等を作成していました。マルタの観光地や他の留学生の様子などを写真とともにその魅力を伝えました。右の写真は、マルタでの最初のブログです。



27 7月 **カラフルでかわいい！ ポバイレレッジ**

Posted at 15:04h in イベント, 観光情報 by Tomie Makita · 0 Likes · Share

はじめまして。今週からマルタ短期留学に来ているMonoです。

これからマルタを訪れる方や興味のある方に、少しでも参考にしていただけたらと思います！

Q2 どんなことが印象的でしたか？

→旅行者が入っているビルには、いろいろな会社が入っており、中国やクロアチアの人と英語で話をすることができました。また、語学学校のクラスは1週間ごとに変わりますが、3週目の時はクラス10人中7人がイタリア人で、みんな一斉にしゃべりだすことにびっくりしました。国によって考え方が全く違うことに驚きました。1年次に参加したカナダのグローバル研修では、周りはずべてカナダ人でしたが、マルタは多国籍だなあと実感しました。また、日本ではあまり意見を聞かれることはありませんが、マルタでは、常に「Why?(なんでそうなの?)」と理由を聞かれました。



↑旅行会社のスタッフとともに(左端が松崎さん)

第32回 ふれあい活動高校生のつどい

2017年7月28日(金)栃木県教育会館で、「ふれあい17 翔けぬける青春」をスローガンに、ふれあい活動高校生のつどいが行われました。本校の前期生徒会役員がふれあい活動体験として、「**インスパイア 佐高～SGHとしての取組**」をステージ発表してくれました。大きな舞台に臆することなく、りっぱにやり遂げてくれました。



発表した前期生徒会役員

宇都宮大学グローバルサイエンスキャンパス

2017年8月4日(金)宇都宮大学で、「平成29年度グローバルサイエンスキャンパス開講式」が開催されました。今年度、定員45名に対し全国から100名の応募があり、審査の結果47名が選ばれました。本校からは**科学部のチーム4名**(松澤あさひさん、斎藤真作君、臼居諒馬君、安生温大君)が応募し合格しました。今後、研究の成果が上がることを期待しています。

